



留学だより Vol.4

皆さん、こんにちは。オーストラリアのケアンズに留学している14期の杉本です。日本では、期末考査が近づいてきた頃だと思います。私の学校はちょうど Term 2 が終わり、2週間のホリデーに入りました。ということで、今回の留学だよりでは、約半年分の学校生活を振り返っていこうと思います。

～授業～

私が今とっている科目は、数学、英語、社会、理科、Drama、日本語、情報技術です。一つ一つ紹介していきます。

・数学

小石川と違って代数や幾何といった区別がありません。図形の単元と数式の単元がごちゃ混ぜになっているので、初めは困惑しました。授業内容はいたって簡単で、前半に先生の説明を聞き、後半は基礎問題を解くだけです。小石川であれば問題集にも載らないくらい簡単な問題ばかりなので、私はたいてい先生が説明している間に解き終わります。一方で他の生徒は、授業中に数問しか解き終われない人が多数です。私が本来より1つ下の学年に入っているとはいえ、小石川とのレベルの差に驚きました。

例えば、皆さん 5×15 は暗算でできますか？そんなの簡単だよと思った方が多いのではないのでしょうか。ところが、こちらの人はこの計算に電卓を使います。九九はギリギリ暗記しているようなのですが、二桁に入ってしまうと皆が電卓を取り出します。なんと、生徒だけではなく、先生もです！そのため、私が誰よりも早く答えられるという状況がしばしば発生します。そうすると周りが「天才」「賢すぎる」と称賛してくれるので、自己肯定感が爆上がりします。皆さんも数学に追われて辛くなったら、「自分は2桁×1桁が暗算のできるから大丈夫」だと思いうようにしてみてもいいのではないでしょうか。

・英語

日本で言う国語の授業です。1学期まるまる使って、一つの単元を学びます。Term 1 では、「Animal Farm」という物語、Term 2 では、戦争について書かれたいくつかの詩を分析しました。こちらの英語の授業では戦争について取り上げることが多いです。歴史の授業かと錯覚するほどです。戦争について書かれた詩はもちろん、「Animal Farm」にも戦争が関連しています。メインキャラクターはスターリンやヒトラーをモデルにした豚たちで、コミ

ユニズムや独裁政治が皮肉っぽく描かれています。和訳されたものがネットで読めるようなので、気になる方はぜひ下のリンクから読んでみてください。

<https://open-shelf.appspot.com/AnimalFarm/index.html>

Term 3 では、かの有名なロミオとジュリエットを扱うそうです。英語で読むことで、シェイクスピアの書いたものをそのまま自分のイメージにかみ砕くことができるので楽しみです。

・社会

歴史、公民、地理、ビジネスの4つを1Termごとに勉強します。私は今までに、歴史と公民を受けました。どちらの科目も読む資料が多く、さらにその内容も、知らない単語がたくさん出てきたので、とても苦労しました。私の受けているクラスには、私を含めて9人の生徒しかいません。他のクラスに比べてとても少ないです。そのおかげか、先生が私のサポート用に解説を書き込んだ資料をくださるので、とてもありがたいです。

・理科

Term 1 は化学、Term 2 は物理でした。数学と同じく、基礎しかやらないので簡単です。ただ、テストでは法則やどう考えたかの説明を書かなければならない問題があるので、そこが少し厄介です。ライティングの練習になると思って頑張っています。

Term 3 は生物だと友人が言っていました。解剖もあるようなので、楽しみです。化学や物理と違って、計算だけでは乗り切れなさそうなので、語彙力と表現力の向上に努めようと思います。

・Drama

私の大好きな授業です。5月にはTerm 1から練習してきた劇の発表がありました。「Juice」という劇です。ある一人の少年の自殺を、過去の回想と少年の周囲の人間への事情聴取のシーンを使って描いた作品です。悲しい話ですが、ところどころに笑える要素もあり、演じるのがとても楽しかったです。お客さんも、笑うところでは大爆笑して、悲しいところでは「Oh…」と思いきり悲しそうな声を出して反応してくれたので、演じている手ごたえがありました。日本だと静かに見るのがマナーなので、そこがオーストラリアとの違いですね。私は静かだと寂しいので、オーストラリアの方が好きです。劇が終わった後は、見に来てくれた友人やホストファミリーが私のところに来て、たくさん褒めてくれました。先生も「第2言語でセリフを覚えて、あそこまで演じられるのはすごい」と大絶賛してくださり、

とても嬉しかったです。

次にやる劇はイタリアのコメディだそうです。次はもう少しセリフの多い役に挑戦してみようと思っています。



左の写真が過去の回想シーン、右の写真が事情聴取のシーンです。
私は酒屋の店員の役でした。

・日本語

私の大好きな授業②です。皆様のご想像通り、内容はとても簡単です。そのため、友人や時には先生にまで教えることがあります。これがなかなか大変です。

例えば、匹という単位は、その前につく数字によって読み方が「びき・ひき・びき」というように変わりますね。この理由を聞かれたときはとても困りました。発音しやすいからという理由なのですが、そもそも友人は日本語の発音に慣れていないので、あまり納得はしてもらえませんでした。

私たちが3単現のsだったり、動詞の形の変化に戸惑うように、日本語でも海外の人からすると困惑する部分があるのだと知れて、とても面白い授業です。

・情報技術

小石川での情報の授業のような座学はなく、ひたすら実習をします。Python を使用してゲームを作ったり、SQL というコンピュータ言語を使えるようにドリルに挑戦したりしました。英語か日本語か関係なく難しいです。特に Python は、先生のお手本のコードをそっくり写すところから始めるのですが、自分が打っているコードがどういう意味なのか全く理解ができず大変でした。ゲームを作るのもとても大変でしたが、自分のコードでゲームが動くのがとても嬉しかったです。

~その他~

・ Week 10

私の学校は 10 週間で 1Term となっています。その最後の週である Week 10 は、ほとんどの科目で授業は行われません。数学や理科の授業では映画を見ました。映画を見ずに友人と遊んでいても怒られません。体育の授業ではやりたいスポーツを募集して、一番票の多かったバレーボールをしました。日本語の授業ではお菓子を持ち寄ってパーティーをしました。学校だとは思えないくらい自由で、大はしゃぎしました。

・ Fun Day

1年の半分が終わったということで、Term 2 の最終日は Fun Day でした。広い校庭に、SASUKE の簡易版のようなアスレチックやロッククライミングの壁が設営されました。やることの規模が大きすぎて、さすが海外と圧倒されました。まさに 'Fun' Day で、とても楽しかったです。

・ Free Dress Day

私の学校には、1 ドル募金をすると、制服ではなく私服で登校しても良い日があります。生徒の参加率は 50% くらいで、決して高くはありませんが、マリオの仮装やピカチュウの着ぐるみなど、ユニークな格好をしている人たちがいたので、かなり盛り上がっていました。

今回は私の学校生活を紹介しました。少しでも楽しさが伝わっていれば嬉しいです。それでは次回もお楽しみに！

See you next month!